

2019年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2019年5月8日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2019年12月期 第1四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.15
■ 2019年 通期業績の見通し	P.26
付属資料	P.33

2019年12月期 第1四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

売上高	3,616億円	前年同期比 108 億円(2.9%)の減収
営業利益	209億円	同 98 億円(31.9%)の減益
税引前利益	235億円	同 110 億円(31.8%)の減益
親会社の所有者に帰属する		
四半期純利益	156億円	同 92 億円(37.0%)の減益

- 液晶ガラス基板や東南アジアにおける苛性ソーダの価格下落、自動車用ガラスの出荷減、ユーロ安により減収
- 液晶用ガラス基板の販売価格下落や新規設備立ち上げ、自動車用ガラス、化学品の製造コスト増加により減益

連結純損益計算書

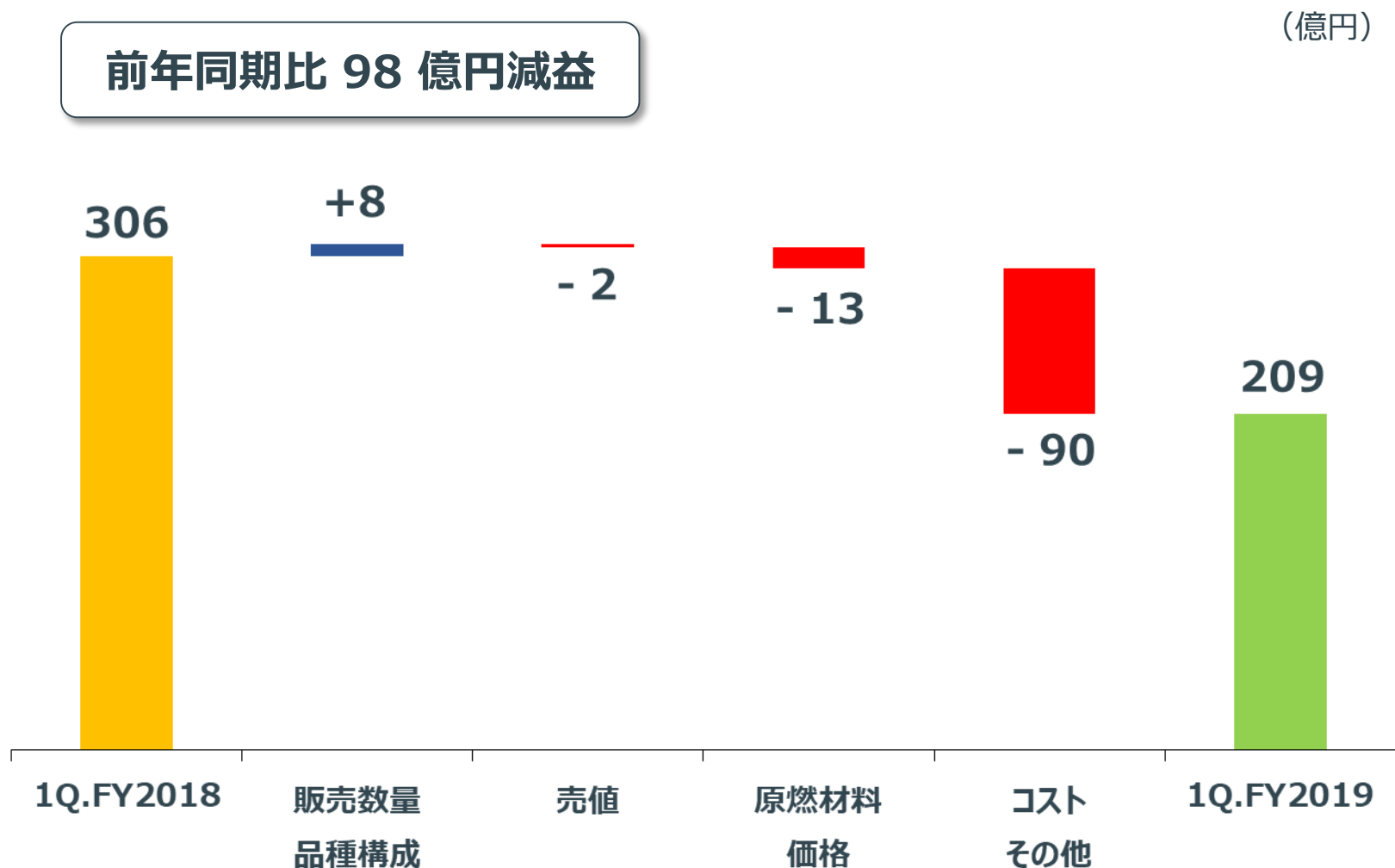
	1Q		(億円)
	FY2018	FY2019	増減
売上高	3,725	3,616	▲ 108 *
営業利益	306	209	▲ 98
その他収支	45	29	
事業利益	351	237	▲ 114
金融収支	▲ 7	▲ 2	
税引前利益	344	235	▲ 110
法人所得税費用	▲ 71	▲ 55	
四半期純利益	273	180	▲ 93
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	248	156	▲ 92
非支配持分に 帰属する四半期純利益	25	24	
為替レート	JPY/USD	108.30	110.20
(期中平均)	JPY/EUR	133.22	125.15
原油	\$/BBL (Dubai)	63.9	63.5

* うち、為替差影響は、1Q 売上高▲53億円

セグメント別業績 前年同期比較

	1Q		(億円)	
	FY2018	FY2019	増減	増減%
売上高	3,725	3,616	▲ 108	▲ 2.9%
ガラス	1,943	1,861	▲ 81	▲ 4.2%
電子	560	594	+ 35	+ 6.2%
化学品	1,148	1,127	▲ 21	▲ 1.8%
セラミックス・その他	183	185	+ 2	+ 1.1%
消去	▲ 109	▲ 152	▲ 43	
営業利益	306	209	▲ 98	▲ 31.9%
ガラス	77	35	▲ 42	▲ 54.6%
電子	57	25	▲ 32	▲ 56.4%
化学品	170	144	▲ 26	▲ 15.1%
セラミックス・その他	3	6	+ 3	-
消去	0	▲ 1	▲ 1	

営業利益増減要因分析(1Q.FY2018 vs. 1Q.FY2019)



セグメント別業績 前四半期比較

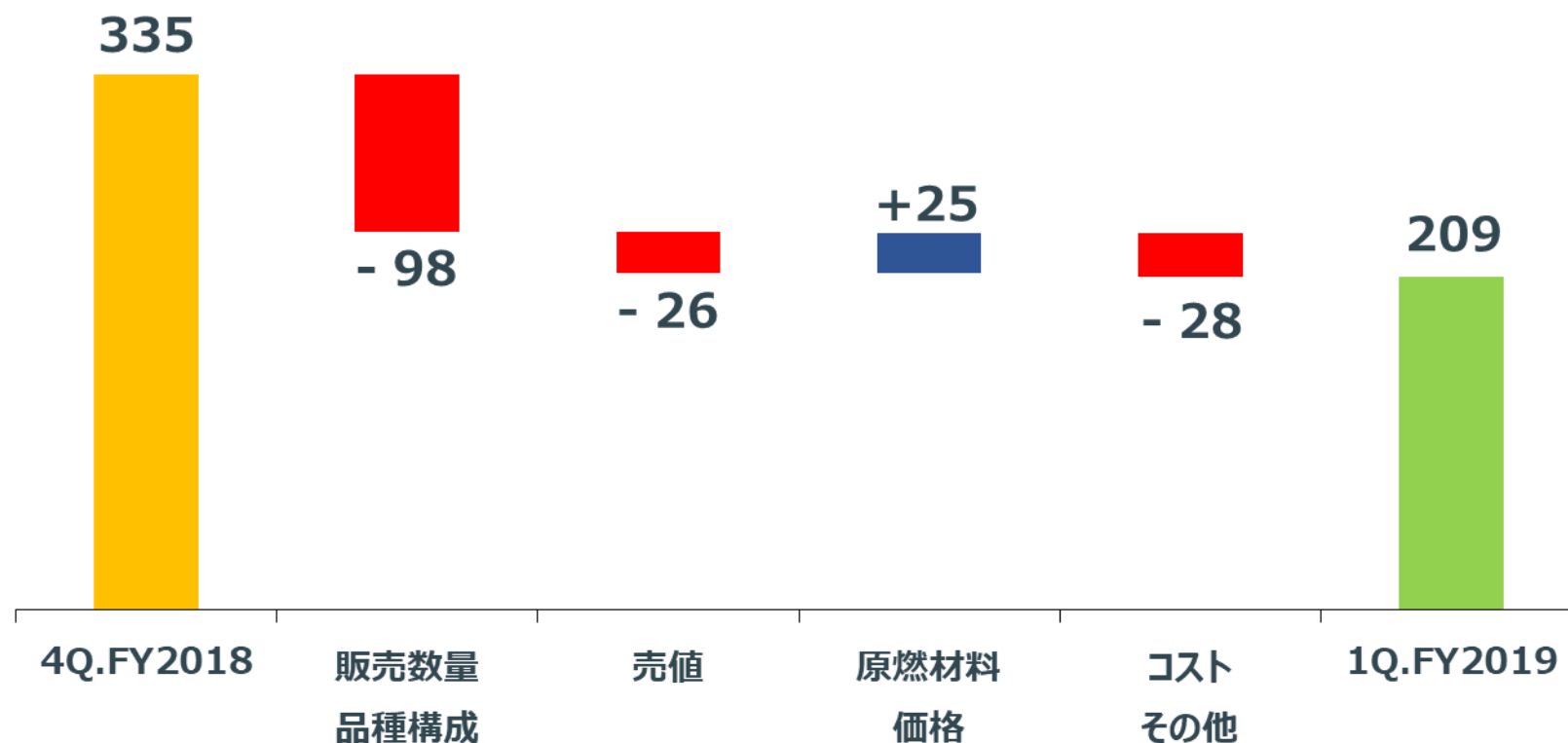
(億円)

	4Q.FY2018	1Q.FY2019	増減	増減%
売上高	3,968	3,616	▲ 351	▲8.9%
ガラス	1,953	1,861	▲ 92	▲4.7%
電子	670	594	▲ 75	▲11.2%
化学品	1,295	1,127	▲ 167	▲12.9%
セラミックス・その他	202	185	▲ 17	
消去	▲ 152	▲ 152	▲ 0	
営業利益	335	209	▲ 127	▲37.8%
ガラス	44	35	▲ 10	▲21.4%
電子	78	25	▲ 53	▲68.2%
化学品	209	144	▲ 64	▲30.9%
セラミックス・その他	4	6	+ 2	
消去	0	▲ 1	▲ 1	

営業利益増減要因分析(4Q.FY2018 vs. 1Q.FY2019)

前四半期比 127 億円減益

(億円)



	(億円)			
	2018/12	2019/3	増減	
現金及び現金同等物	1,235	1,396	+ 161	
棚卸資産	2,770	2,915	+ 144	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	12,547	13,024	+ 477	← うち、 ・IFRS16号適用による 使用権資産の計上 + 389億円 ・為替差影響 ▲4
その他	5,806	5,696	▲ 110	
資産合計	22,358	23,030	+ 673	← うち、 ・為替差影響 +13
有利子負債	5,418	6,018	+ 600	←
その他	4,404	4,293	▲ 110	うち、 ・IFRS16号適用による リース負債の計上 + 392億円
負債の部	9,822	10,312	+ 490	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,372	11,532	+ 160	
非支配持分	1,164	1,187	+ 23	
資本の部	12,536	12,719	+ 183	
負債及び資本合計	22,358	23,030	+ 673	
D/E比率	0.43	0.47		

連結キャッシュフロー計算書

	1Q	
	FY2018	FY2019
		(億円)
税引前利益	344	235
減価償却費及び償却費	303	335
運転資金増減	▲ 141	▲ 142
その他	▲ 110	130
営業活動によるCF	397	558
投資活動によるCF	▲ 349	▲ 479
フリーキャッシュフロー	48	79
有利子負債増減	240	213
支払配当	▲ 124	▲ 133
その他	22	▲ 7
財務活動によるCF	138	73
現金等に係る換算差額	▲ 47	8
現金等の増加額	139	161

	1Q	
	(億円)	
	FY2018	FY2019
設備投資額	497	426
減価償却費	303	335
研究開発費	105	111

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1Q.FY2019	3,616	1,861	594	1,127
前年同期比	▲ 108	▲ 81	+ 35	▲ 21

[以下影響を除く前期比]	▲ 93	▲ 24	+ 4	▲ 32
為替換算の影響	▲ 53	▲ 57	+ 1	+ 4
連結範囲変更の影響	+ 37	-	+ 30	+ 7

*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

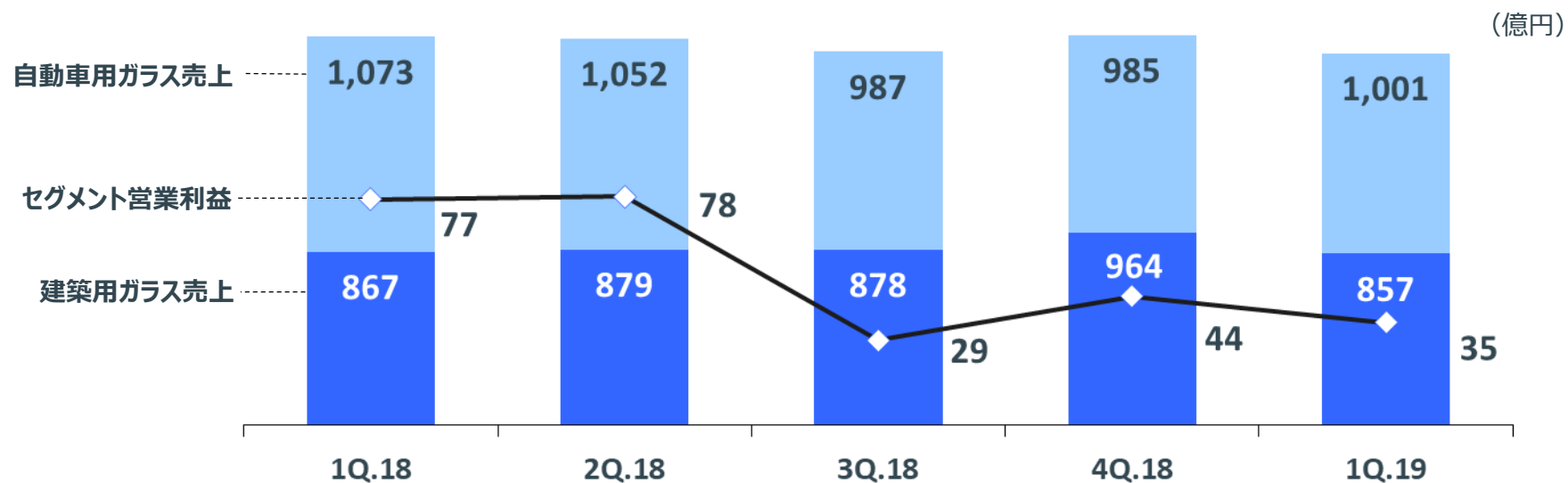
2. セグメント別・地域別の状況

■ 以下セグメントで組織改正の影響が発現



ガラス セグメント (1)

	1Q		増減
	FY2018	FY2019	
売上高	1,943	1,861	▲ 81
建築用ガラス	867	857	▲ 10
自動車用ガラス	1,073	1,001	▲ 71
(セグメント間)	3	4	
営業利益	77	35	▲ 42



【前年同期比】

〔売上高〕 減収

建築用ガラス

- 日本、欧州の出荷堅調も、ユーロ安の影響で減収

自動車用ガラス

- 日本、ロシアを除く地域での出荷減、ユーロ安の影響で減収

〔営業利益〕 減益

建築用ガラス

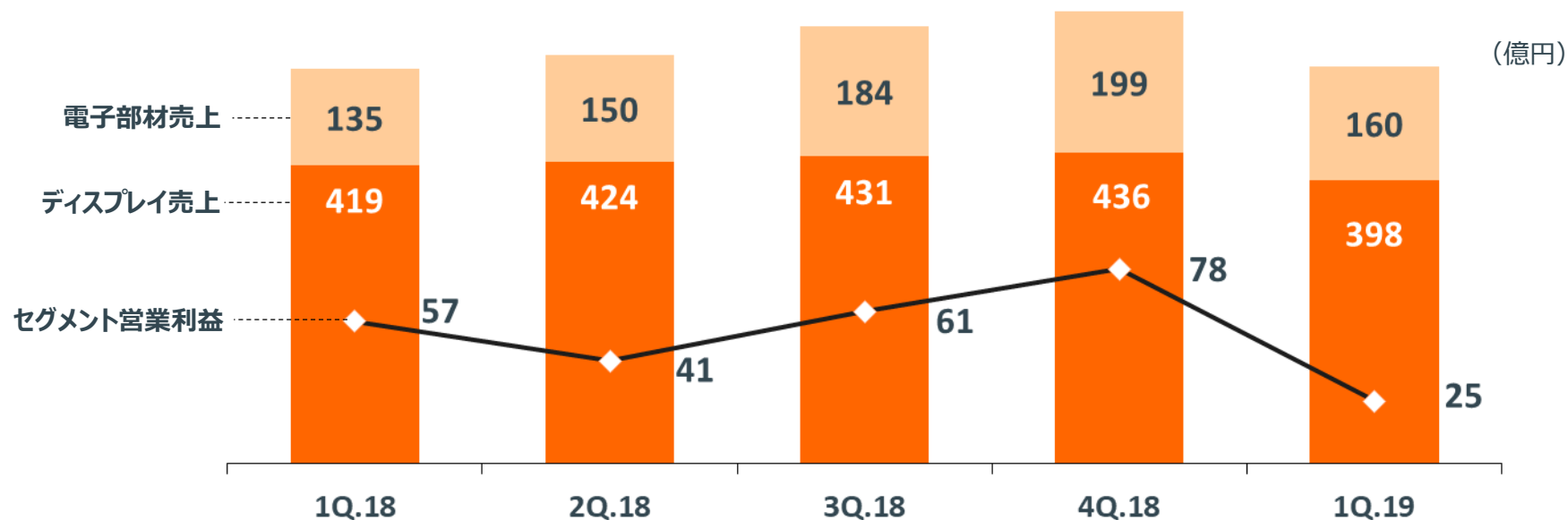
- 日本、欧州での出荷増、販売価格改善で増益

自動車用ガラス

- 18年4Qに続き、日本での受注量増加により生産効率が悪化
- 19年1Qに日本の素板生産設備の修繕実施により製造原価上昇

電子 セグメント (1)

	1Q		増減
	FY2018	FY2019	
売上高	560	594	+ 35
ディスプレイ	419	398	▲ 21
電子部材	135	160	+ 25
(セグメント間)	6	36	
営業利益	57	25	▲ 32



【前年同期比】

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

-液晶用ガラス基板

- 販売数量は前年同期並み、販売価格は下落幅縮小

-ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルは出荷好調

電子部材

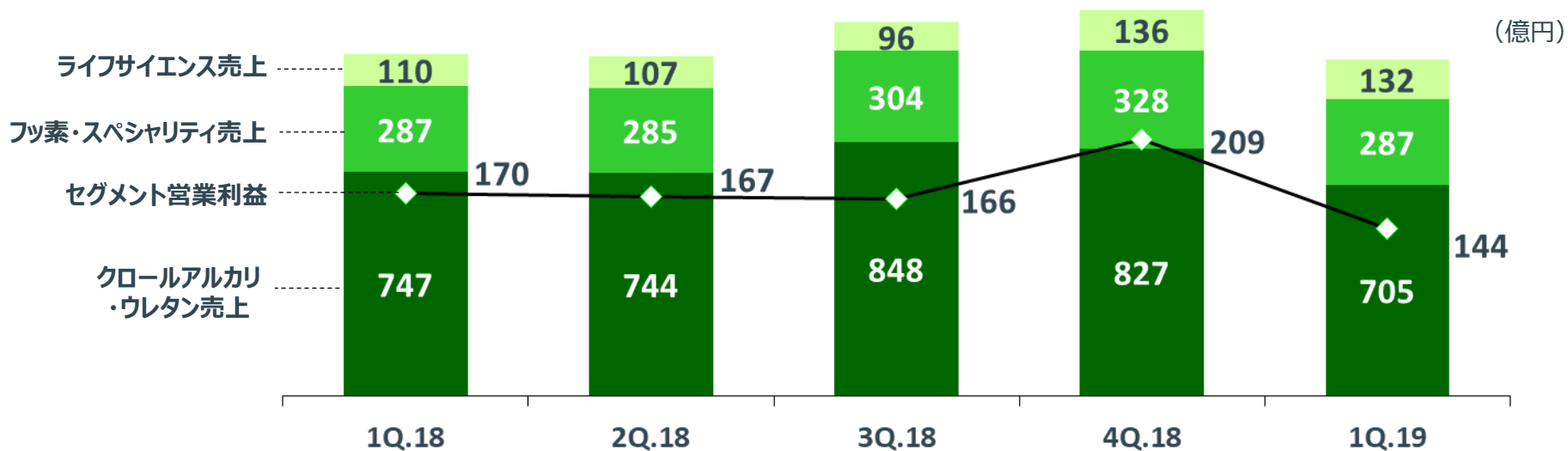
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷減少も、半導体関連製品の出荷増加
- 1Qよりパーク・エレクトロケミカル社 エレクトロニクス事業が業績寄与

〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板の販売価格下落
- 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げに伴う減価償却費増加

化学品 セグメント (1)

	1Q		(億円)
	FY2018	FY2019	
売上高	1,148	1,127	▲ 21
クロールアルカリ・ウレタン	747	705	▲ 42
フッ素・スペシャリティ	287	287	+ 0
ライフサイエンス	110	132	+ 21
(セグメント間)	3	3	
営業利益	170	144	▲ 26



【前年同期比】

〔売上高〕 減収

クローラルカリ・ウレタン

- 東南アジアでの苛性ソーダ販売価格の下落

フッ素・スペシャリティ

- フッ素関連製品の出荷は堅調

ライフサイエンス

- バイオ医薬品原薬の受託件数は増加

〔営業利益〕 減益

- 国内拠点の定期大規模修繕や電力コストの上昇により製造原価が増加

	1Q		(億円)	
	FY2018	FY2019	増減	増減%
売上高	3,725	3,616	▲ 108	▲ 2.9%
日本・アジア	2,403	2,341	▲ 62	▲ 2.6%
アメリカ	422	428	+ 6	+ 1.4%
ヨーロッパ	899	847	▲ 52	▲ 5.8%
営業利益	306	209	▲ 98	▲ 31.9%
日本・アジア	328	240	▲ 88	▲ 26.7%
アメリカ	15	21	+ 6	+ 40.6%
ヨーロッパ	45	41	▲ 3	▲ 7.7%
地域共通費用	▲ 82	▲ 94	▲ 13	-

地域別業績 前四半期比較

	4Q.FY2018	1Q.FY2019	増減	増減%
				(億円)
				増減
				増減%
売上高	3,968	3,616	▲ 351	▲8.9%
日本・アジア	2,691	2,341	▲ 349	▲13.0%
アメリカ	430	428	▲ 2	▲0.5%
ヨーロッパ	847	847	▲ 0	▲0.0%
営業利益	335	209	▲ 127	▲37.8%
日本・アジア	388	240	▲ 148	▲38.1%
アメリカ	21	21	+ 0	+1.8%
ヨーロッパ	34	41	+ 7	+21.3%
地域共通費用	▲ 108	▲ 94	+ 14	-

売上高 セグメント・地域別展開

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1Q.FY2019	284	112	461	-	857
		1Q.FY2018	276	112	479	-	867
	自動車ガラス	1Q.FY2019	528	175	298	-	1,001
		1Q.FY2018	538	193	342	-	1,073
		1Q.FY2019	811	287	760	4	1,861
		1Q.FY2018	814	305	821	3	1,943
電子	1Q.FY2019	516	40	2	36	594	
	1Q.FY2018	522	33	0	6	560	
化学品	1Q.FY2019	938	101	84	3	1,127	
	1Q.FY2018	982	85	78	3	1,148	
セラミックス・その他	1Q.FY2019	76	-	-	109	185	
	1Q.FY2018	86	-	-	97	183	
消去	1Q.FY2019	-	-	-	▲ 152	▲ 152	
	1Q.FY2018	-	-	-	▲ 109	▲ 109	
合計	1Q.FY2019	2,341	428	847	-	3,616	
	1Q.FY2018	2,403	422	899	-	3,725	

2019年 通期業績の見通し

売上高	16,000億円 (上期 7,750億円)	前年比 771億円 (5.1%) の増収
営業利益	1,250億円 (上期 500億円)	同 44億円 (3.7%) の増益
税引前利益	1,180億円	同 104億円 (8.1%) の減益
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	780億円	同 116億円 (12.9%) の減益

- **営業利益は5期連続増益を見込む**
- **親会社の所有者に帰属する当期純利益は減益となる見通し**
 - **その他費用が引き続き低いレベルで推移も、2018年の特殊要因が剥落**

2019年 通期業績見通しの主要項目

	FY2018	FY2019 予想	(億円)
売上高	15,229	16,000	前年比 771億円 (5.1%) の増収
(上期)	7,455	7,750)	
営業利益	1,206	1,250	同 44億円 (3.7%) の増益
(上期)	603	500)	
税引前利益	1,284	1,180	同 104億円 (8.1%) の減益
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	896	780	同 116億円 (12.9%) の減益
一株当たり配当金 (円)	115	120	
営業利益率	7.9%	7.8%	
ROE	7.7%	6.9% ^{*1}	
為替レート (期中平均)	JPY/USD	110.43	110
	JPY/EUR	130.42	125
原油	\$/BBL(Dubai)	69.4	60
エチレン	USD/MT (CFR SEA)	1,141	900

*1 FY2019予想のROEは、2018年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

【ガラスセグメント】

〔売上高〕 増収

建築用ガラス

- 各地域で数量が堅調に推移、加えてブラジル新窯稼働開始
- 日本、欧州で前期に行った値上げがフルに寄与

自動車用ガラス

- 堅調な既存事業に加え、車載ディスプレイ用カバーガラス事業が電子セグメントより移管

〔営業利益〕 増益

建築用ガラス

- 堅調な販売や前期値上げのフル寄与に加え、生産性の改善により製造原価低減

自動車用ガラス

- 前年下期に日本で悪化した生産効率は、本年下期から平常状態に戻る
- 車載ディスプレイ用カバーガラス事業の移管

【電子セグメント】

*車載ディスプレイ用カバーガラス事業はガラスセグメントに移管

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

-液晶用ガラス基板

- G11対応設備が立ち上がり市場成長以上に出荷数量が増加
- 価格下落幅は前年よりさらに縮小する見込み

-ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルの出荷数量が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに出荷増

〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板は販売数量増も、G11対応設備の償却費が増加し価格はマイルドに下落
- ディスプレイ用特殊ガラスはドラゴントレイルが出荷増、前期発生在庫処分損がなくなる
- 電子部材は半導体関連製品を中心に業績拡大

【化学品セグメント】

〔売上高〕 増収

クローラルカリ・ウレタン

- クロアリ製品の価格改善

フッ素・スペシャリティ

- フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

ライフサイエンス

- 合成医農薬・バイオサイエンスともに、前期までの積極投資により生産能力が拡大

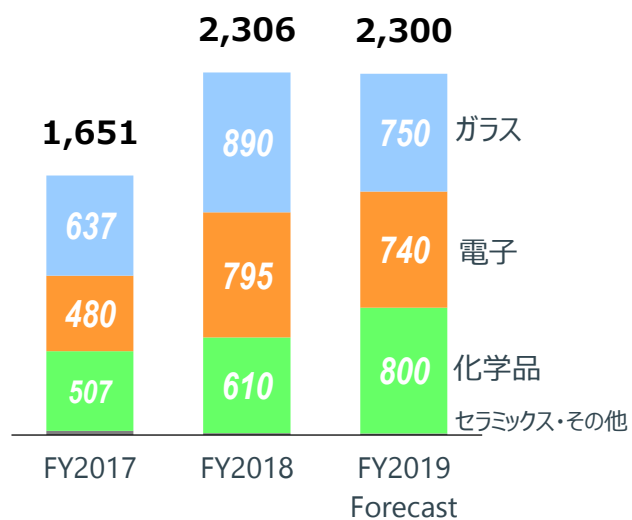
〔営業利益〕 増益

- クロアリ製品の価格スプレッド改善

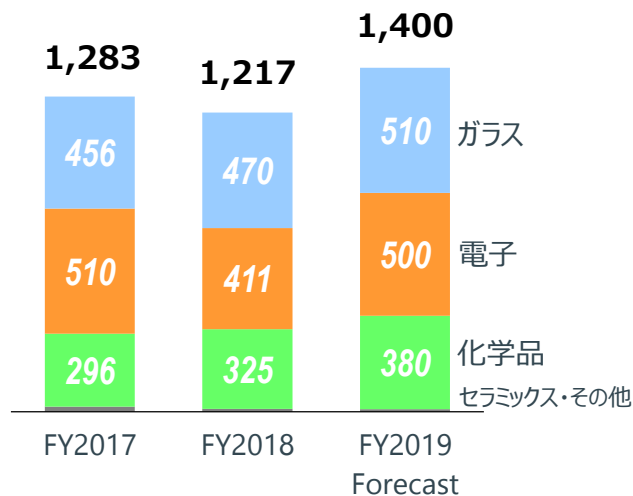
- ライフサイエンスは順調に規模を拡大

(億円)

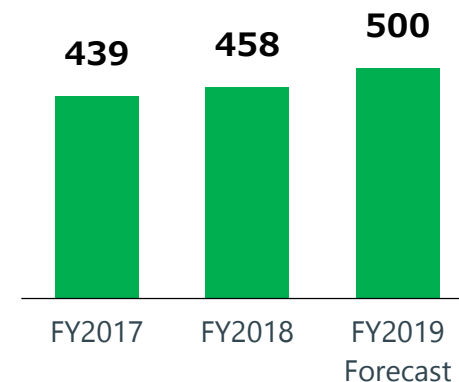
設備投資 (M&A除く)



減価償却費



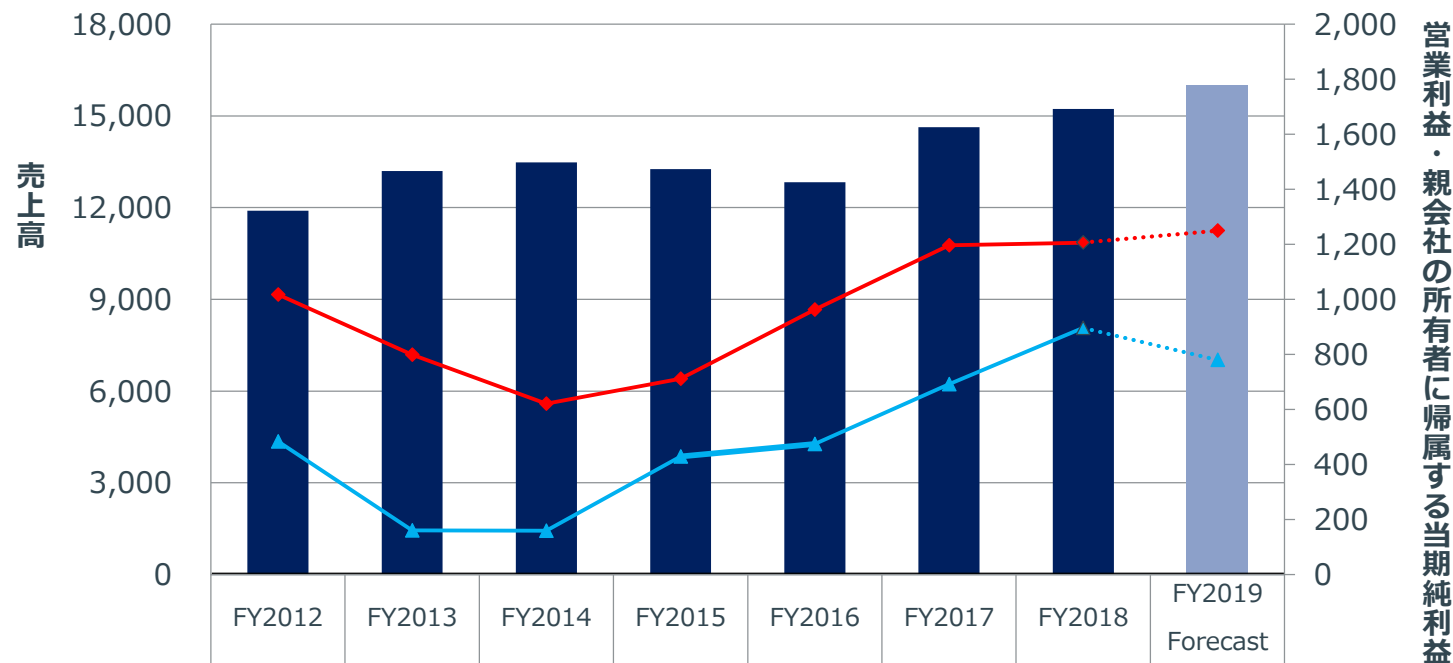
研究開発費



付属資料

通期業績の推移

(億円)



	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019 Forecast
■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,229	16,000
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,206	1,250
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	896	780
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%	7.8%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥115	¥120

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS						
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12	18/12
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%	7.7%
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%	5.4%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%	51%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38	0.43
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42	0.35
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12	399.51
EBITDA *4	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499	2,594

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2018					FY2019	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	年間
円/ドル	期中平均	108.30	109.07	111.46	112.90	110.43	110.20	110.0*
	期末	106.24	110.54	113.57	111.00	111.00	110.99	
円/ユーロ	期中平均	133.22	130.06	129.63	128.78	130.42	125.15	125.0*
	期末	130.52	127.91	132.14	127.00	127.00	124.56	

* FY2019の前提

発表日	内容
1月31日	AR/MRガラス向けガラス基板を販売開始
2月6日	剰余金の配当（増配）に関するお知らせ
2月13日	不定形耐火物の製品ブランドを「THERVEK®(サーベック®)」に一新
2月19日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーションを買収
2月20日	ミラノデザインウィーク2019にてインスタレーション「Emergence of Form」を披露
3月4日	スペイン合成医薬品原薬製造会社Malgrat Pharma Chemicals社の買収を完了
3月5日	トヨタ自動車より「グローバル貢献賞」など3部門を受賞
3月18日	自動車用ガラスアンテナの開発体制をグローバル3極で構築

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC

Your Dreams, Our Challenge

END